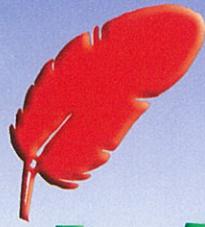


# 身延町 社協だより



●編集／発行●

社会福祉法人  
身延町社会福祉協議会

〒409-2523  
南巨摩郡身延町波木井272-1  
TEL 0556-62-3773  
FAX 0556-62-3777

平成27年3月31日発行



March  
vol. 18  
2015

主な内容

contents

みのぶ生きがいデイサービスでは、今年の干支「未」にちなんでだるまの制作に取り掛かりました。一つひとつ個性のある未になりました。身延町総合文化会館に展示していただき、好評でした。

・・・・・主な内容・・・・・

- 会長あいさつ ..... 2
- 社会福祉協議会表彰関係 ..... 3
- 福祉作文最優秀作品紹介 ..... 4・5
- 共同募金寄附者報告 ..... 6・7
- 寄付者のご紹介 ..... 8

この社協だよりは共同基金の一部で発行しています。

## 社協会長あいさつ



身延町社会福祉協議会  
会長 鈴木俊一

社会福祉協議会も順調に、新年度のスタートをきることができました。常日ごろ支えて頂いております関係各位に改めて御礼申し上げます。

今日も、町内各地域で、"ボランティア"を必要とする高齢者、障害者が渾身を振り絞り生活をされています。私ども社会福祉協議会も、二十七年度事業計画に、ボランティア活動の機能強化と組織の充実・ボランティア連絡協議会への積極支援を明記したところであります。

この事業を実現するためには、ボランティアの必要性と併せ、ボランティア精神を広く世に浸透させる努力があつてこそ、"必要とする人"に、形として提供することができます。

この実現を成し得て、"福祉の町みのぶ"を自信を持つて発信できうるものと思います。

社会福祉協議会が町民の皆様にお示しした、十事業四十項目を町民の視点に立つて力強く推進してまいる所存であります。現在、社会福祉協議会の独自性、自主性、継続性を確立し、町民の皆様に安定的なサービスを提供する責任の上から、"改革検討委員会"を立ち上げ、社会福祉協議会のあるべき姿を追求し、議論をしているところであります。社会福祉に携わる者として、理事・評議員・職員一丸となつて、町民の皆様の期待と信頼に応えてまいります。

## 第六回みのぶボランティアの集いが開催されました！

耳の日手話まつりにて、すみれ手話サークルが発表しました。

一月十四日の土曜日、身延町中富総合会館を会場に、第六回、みのぶボランティアの集いが開催されました。みのぶボランティアの集いは、身延町ボランティア連絡協議会・身延町社会福祉協議会・ボランティアセンターが主催となつて行うイベントです。町内全域から、ボランティアやボランティア活動に関心を持つ人二四六名の参加がありました。

午前の講演では、「正しく知つて認知症」と題して、身延山病院の萩原淳先生を講師に迎え、認知症とはどのような病気なのか、病気の対応等について詳しくお話をいただきました。

午後は、山梨県社会福祉協議会が共催に加わり、山梨県防災危機管理課総括課長補佐の城野仁志先生に「防災マップづくり」についてご指導いただきました。特に今回は、災害弱者と呼ばれる要援護者の支援に焦点をおいたマップづくりを行いました。地元の住民間で、危険区域や避難場所について再確認をすることができました。

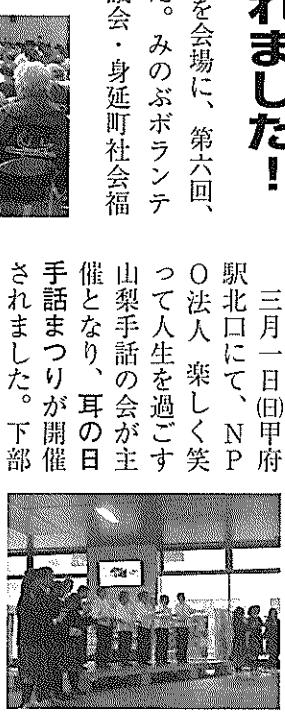
防災マップとは・・・「防災マップ」とは、地域内で災害時に役立つものや危険なものなどを地図上に書き込んだものです。自主防災活動を進めながら、災害が発生した時に、慌てず冷静に素早く適切な対応ができるようになります。

電話番号：055-6162-3773

平成二十六年度男性料理教室が年六回行われました。

身延町からの委託を受け、介護予防・生活支援を目的に、六十歳以上の男性を対象とした料理教室を実施しています。

平成二十六年度も栗田先生を講師にお招きし、食生活改善推進員（食改）の皆さんとの協力により、年六回を行いました。来年度も実施予定ですので、大勢の方のご参加をお待ちしています。





# 福祉体験の紹介

わたしの

おじいちゃんとおばあちゃん

下山小学校五年 河 西 一 葉

わたしの家には、体が不自由なおじ  
いちゃんとおばあちゃんがいます。

おじいちゃんは足が不自由で、おふ  
ろに入るのは一人だつたら大変なの  
で、ヘルパーさんが家に来て、おじい  
ちゃんのおふろを手伝つてくれます。  
歩くのも大変なのでつえなどを使つて  
います。

おばあちゃんは、デイサービスに行

わたしのお母さんは、毎日、おじい  
ちゃんやおばあちゃんのかい護をやつ  
ています。お母さんを見ていていつも  
大変だと思います。

大変だと思った所は、おばあちゃん  
の着がえです。だから、たまに、おば  
あちゃんの着がえの手伝いを、わたし  
も手伝います。おばあちゃんの着がえ  
を手伝つてみて、言つても言つた通り  
してくれないのでとても大変でした。  
それを毎日お母さんはやつていて  
すごいと思いました。

おじいちゃんは、一人で着がえがで  
きます。だけど、ごはんの時は、おじ  
いちゃんは二つに分れているはしだと

使えないでの、二つともつながつてい  
るはしを使つています。

後、大変そだと思う所は、夜です。  
夜はおばあちゃんをねかさないといけ  
ないからです。お母さんは、おばあち  
ゃんに

「もう、夜だからねる時間だよ。」

と言つておばあちゃんをねかせようと  
します。だけど、おばあちゃんは、自

分の部屋を通りこしてしまでのお母  
さんが、おばあちゃんに、

「そつちぢやないよ。部屋は、こつ  
ちだよ。」

と言つて、おばあちゃんに

「おやすみ。」

と言つておばあちゃんをやつとねかせ  
られます。

お母さんを見ていて、いつも同じ事  
を思います。それは、とても大変そう  
だと思います。

だという事です。

それで、お母さんに何が一番大変か  
聞いてみました。

「何が大変なのかな。でも、気を付  
けていることは、おじいちゃんとおば  
あちゃんがケガや病気をしないように  
注意しているよ。」

と、言つていました。お母さんによつ  
ておじいちゃんとおばあちゃんのかい  
護は、毎日のことなので、大変だとは  
思つていいないです。

お母さんは、おじいちゃんとおばあ  
ちゃんが元気でいてくれることが何よ  
りだと言つていました。

わたしも、おじいちゃんとおばあち  
ゃんがいつまでも元気でいてほしいと  
思います。

思います。だから、お母さんといつし  
ょに、これからもおじいちゃんとおば  
あちゃんのかい護を手伝つていきたい  
と思います。

「福祉体験を通して感じたこと」

身延中学校一年 望月 美由子

私は認知症の祖父がいます。何を

したいなどの意志を人に伝えたり、人

と話すこともだんだん難しくなってき

ていて、コミュニケーションをとるの

も大変です。そんな祖父のようなお年

よりとどう接し、コミュニケーション

をとればいいのかを考え、そして、

福祉について学び、知り、ふれるきっ

かけとなつたのは、一年生の校外学習

として行つた福祉体験でした。福祉体

験は、私の祖父のように認知症で一人

で生活するのが難しい人が住む、福祉

施設に訪問し、福祉について学ぶ行事

です。その福祉体験を行うに当たり、

私は一つの疑問が生まれました。それ

は、「福祉とはなにか」です。テレビ

などでも「福祉」という言葉をよく耳  
にし、学校でも「福祉について考えよ  
う」と言つてゐるけれど、いつたい福祉  
で、車いすに乗つてゐる方や、あまり  
しゃべることのできない方がたくさん  
いて、普段とは違う雰囲気に、私は少  
しとまどつてしましました。私たちは、  
お年よりとのふれあいとして様々な活  
動をしました。絵本の読み聞かせや誕  
生日カード作りなどをしましたが、そ  
の中でも私がとても印象に残つている  
のは、歌で、「上を向いて歩こう」を  
歌つたときです。私たちが歌つている  
と、お年よりのみなさんも一緒に口ず  
さんでくれたり、手拍子をしてくれて、  
言葉では伝わらなくて、歌を歌うこ  
とで心がつながつて、コミュニケーション  
をとることができた気がしました。  
話したり、遊んだりすることはでき  
ないけれど、そんな風にお年よりと  
少しでも近づき、コミュニケーション  
をとることができたこと、そして家族  
のようなあなたたかさを感じることがで  
きました。それは、大人、子供、お年  
より・・・誰もが同じように幸せに暮  
らせることがなといました。これが  
はなにか」の答えに少し近づいた気が  
しました。それは、大人、子供、お年  
より・・・誰もが同じように幸せに暮  
ら生活していく上で、今回福祉体験で  
の経験、学んだこと、感じたことが生

かしていけたらいいなと思います。そして、福祉についてもっと学び、知り、ふることで、より深めていければいいなと思います。

## 『後悔』から生まれたこと

身延山高等学校三年

前山直子

私は今、手話コミュニケーション部に所属しています。聴覚障害者や手話に触れ合うことで、ある想いが生まれました。

私の祖父母は聴覚障害者です。祖父は生まれつき、祖母は二歳の頃に高熱のために聴覚を失いました。当時、二人とも学校に通っていなかつたため、手話どころか文字もわかりません。だから、会話は常にジェスチャーのような独自の方法でやりとりしています。私が手話部入部を決めたのは、幼少の頃の後悔から始まります。昔は現在と比べて、障害者への差別がひどく、今のような「手話が言語として認められている」「手話を禁止してきたら学校では手話を自由に使つても良い」というように聴覚障害者を理解する環境が整つていなかつたため、母から「障害者は、質素な生活を送つていたのだよ」とよく聞かされました。ただでさえ音がなく、上手にコミュニ

ケーションがとれない上に、常に周りに気を遣いながら生活をするなど聴覚障害者は多くのストレスを抱えていると感じます。祖母も上手に言いたいことを伝わらないもどかしさを「辛い」と言っていたのを思い出します。そのような中で、周囲から不思議な目で見られたり、差別を受けたりする状況は、聴覚障害者の立場を考えると胸が苦しくなります。実際に私の祖父母も、親類に見離され、苦しい生活を送っています。障害者は「家の恥」であるという理由で家から一歩も出してもうえなかつたり、兄弟も一緒に出歩いたりしたがならないなどの経験もあると聞きました。

私は小学校の頃に、近所の男の子に祖父母を馬鹿にされたことがあります。そのせいか、幼かつた私は、祖父母がいると恥ずかしいと思い、それから祖父母を避けるようになります。私は直接祖父母に「一緒にいたくない」と言い、ケンカをするたびに、祖父母は悲しそうな顔をしました。一人を傷付ける行為は、今思い返すと「後悔」という文字が浮かびます。

それが間違いだと気付いたのは、地元新潟県を離れ、身延山高校に来てからです。家族から離れての宿坊生活を通して、家族への感謝の大切さを身にしみて感じました。祖父母と一緒にいたくないと言つていた私でしたが、実際に離れるとき寂しく、今まで大切に育ててくれた感謝と、辛く当つてしまつ

た罪悪感で胸がいっぱいになりました。

また私はもう学校の学園祭に参加し、祖父母に対する罪の意識を再認識させられました。幼稚部から高等部までの子が、音がない中、軽音楽で、目配せをしながら演奏をしたり、堂々と

パンツマイムをしたりと、一生懸命発表をしていました。その発表に「音のない私達でもできる」という強い思いが私に伝わってきました。

ろう学校の生徒達からは、障害を受け入れ、お客様を楽しませようと/orの姿に、とても胸を打たれました。

障害者だからといって健常者と違う訳ではないのです。今までの私はただ客観的に可哀想などの抽象的な考え方ありませんでした。人それぞれ個性があるのです。聴覚障害者は耳が自由だけれども、私達と同じだと知ることができました。

しかし、私自身、聴覚障害を完全に理解することは難しいかもしれませんのが、手話部の活動の中で、積極的に聴覚障害者の悩みや諸問題に関心を持ち、正しく理解を深めていきたいと思います。そして祖父母のような辛い思いをしないように、差別のない社会を築いていきたいです。また、自分と同じように家族に聴覚障害者がいる方と積極的に関わり、共感し合える場を作つていただきたいです。私と同じ悩みを持つた方達が「後悔」しないように、私の想いを伝えていきたいです。

## 福祉ポスター 最優秀作品のご紹介



身延中学校1年 笠井柚希



身延小学校1年 磯辺侑里

平成二十六年度共同募金運動に、「協力賜りまことにありがとうございました。」厚くお礼申し上げます。

下部岩岡



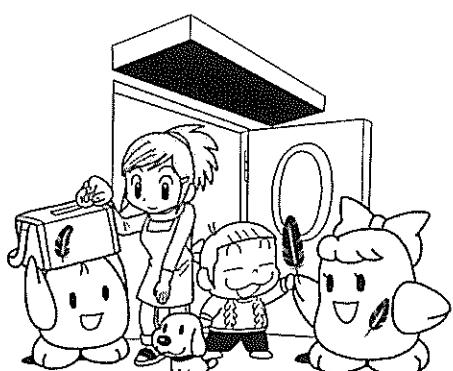
中古書圖

(有)山笠 中富地区 赤下樋(有)ミ湘寿慈甲(財)花大(株)信(有)有  
 力叶井 部川タマ南屋 美枝(株)形黑創濃(有)セレモニーホールやまい  
 望ワ池 川マ一屋 院寺族 ききもの美屋洋明ま  
 月グ製衛工ホデイ生業作業(有)花大(株)信(有)古  
 チチ工光生業製作(有)永明院寺族形黑創濃(有)セレモニーホールやまい  
 建工紙ん光生業製作(有)永明院寺族形黑創濃(有)セレモニーホールやまい  
 設業(株)店夫社(株)所所寺床館館院館社店や  
 様様様様様様様様様様様様様様様様様様  
 様様

身延也

妙智武岸林麓清身竹惠山浪大身端延秋み企善身(有)山圓常下本上(株)河  
 甲陽建機リ一ス  
 夕カハタプレシジョ  
 延花延ぶ企延田内崎山石メ  
 登屋山業總中齒  
 石寂井之藏水山之善本珠善久場寿の里行合興福油國澤工  
 鉄仏商組設屋科販ツ業  
 道具遠とよお備油医売  
 坊坊坊坊房(株)坊坊店坊寺坊店坊寺(株)店院(有)寺(有)寺寺ツ(有)  
 様様様様様様樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣樣  
 所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所所

各種團體等



身延小学校児童会様  
下部中学校生徒会様  
原小学校児童会様  
西島小学校様  
大野山保育園保護者会  
大野山保育園職員一同様  
身延町民生委員  
身延山支院様  
身延山立正保育園  
養護老人ホーム功徳会  
利用者及び職員一同様  
みのぶ荘職員一同様  
下山立正保育園  
園児・保護者・職員一同様  
久那土ボランティアの会様  
身延山学園様  
株式会社ス様  
かじか寮職員一同様

# ご寄付ありがとうございました。

平成26年9月27日～平成27年2月28日まで

8,341円	身延町文化協会支部 様	20,000円	下部地区ボランティアの会 様
53,550円	身延ロータリークラブ 深澤脩二 様	5,000円	松本尚子 様(波木井)
10,000円	上沢無人市 様	20,000円	久那土ボランティアの会 様
26,770円	身延山大学学園祭実行委員会 様	200,000円	(宗)真如苑 様(下部)
42,100円	身延町文化協会カラオケ部 舞踊部 様	30,000円	富士ピー・エス 様
66,300円	山梨県第二部第四組寺院・檀信徒協議会 様	100,000円	桜田親光 様(市之瀬)
10,000円	望月武 様(宮木)	287,453円	日蓮宗第一部第一組寺院及び檀信徒協議会 様
100,000円	中千博 様(遅沢)	10,000円	匿名 様
200,000円	渡辺登 様(川崎市)	5,000円	匿名 様
100,000円	望月直美 様(下田原)	5,000円	匿名 様

## 平成26年度もたくさんのご寄付をありがとうございました!

また、清拭布や古切手などたくさんの物品寄付も町内の団体・個人の皆様からいただきました。物品寄付につきましては町内の福祉施設・団体へ配布を行いました。

また、フードバンク山梨への食品支援も年間を通してたくさんの皆様からご協力いただきました。みなさまから頂きました食品はフードバンク山梨を通じて、県内の食にお困りのご家庭へ届けられております。併せてご報告させていただきます。

そして、毎年たくさんのエコキャップをお預かりさせていただいております。

これまでに **201,283 個** のキャップをリサイクル業者へ持ち込みをさせていただきました。

キャップ400個で10円分のワクチンが購入できます。

1人分のワクチンを購入するには、20円分(860個分)が必要になります。

また、キャップ430個(1kg)を燃やすと、3.15kgのCO<sub>2</sub>が排出されます。

## 社協お問い合わせ先

事務局・ボランティアセンター  
身延生きがいデイサービス  
(しあわせひろば)

\*身延町波木井272-1  
(身延福祉センター内)  
\*電話: 0556-62-3773

中富デイサービス・  
居宅介護支援事業所・  
訪問介護事業所

\*身延町切石117-1  
(中富すこやかセンター内)  
\*電話: 0556-20-4622

下部生きがいデイサービス  
(いこいの広場)

\*身延町常葉1093  
(下部保健センター内)  
\*電話: 0556-20-3023